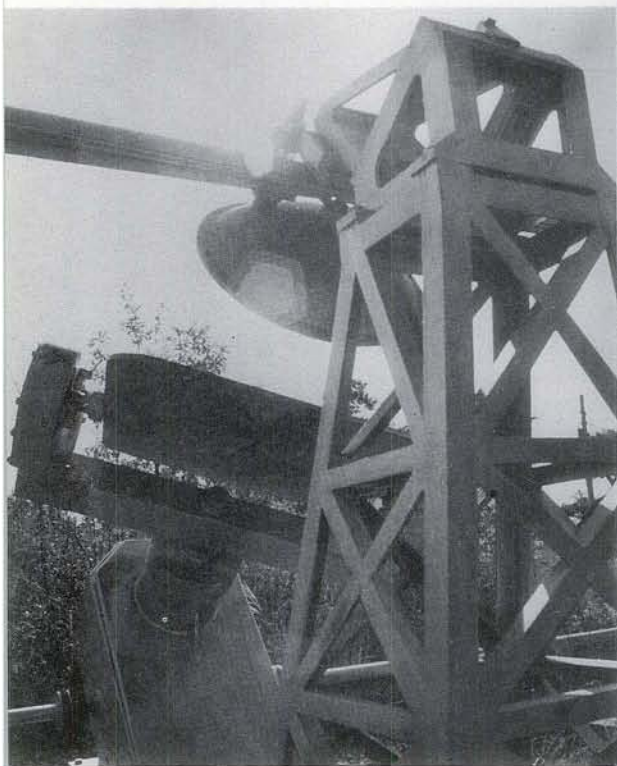
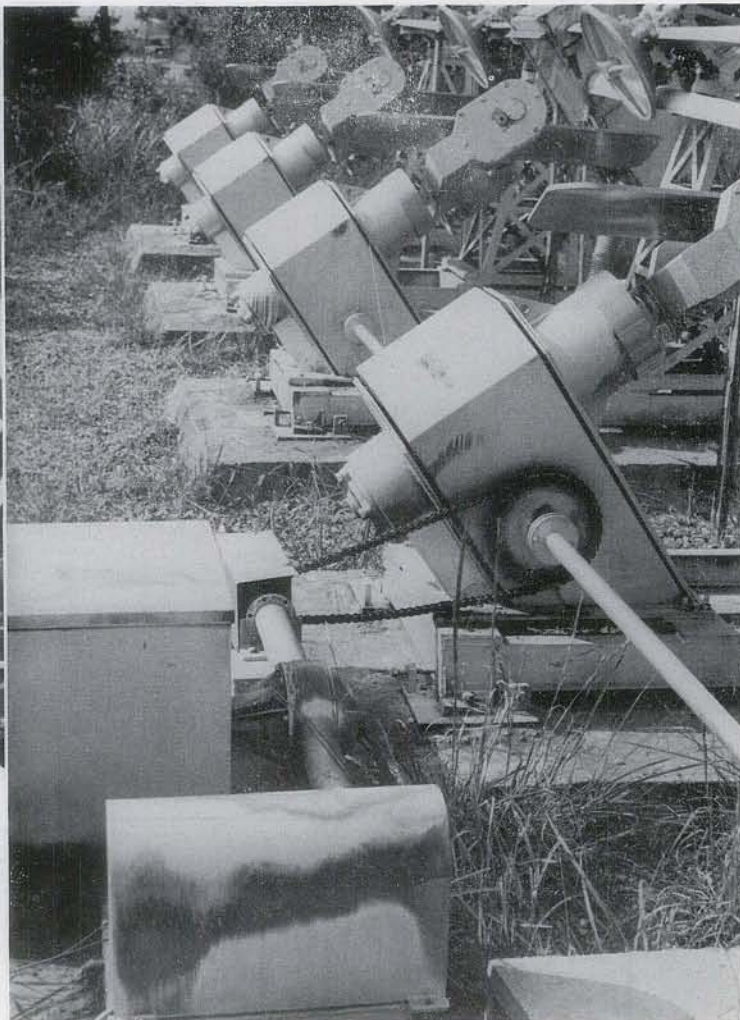


35 GHz 太陽電波干渉計



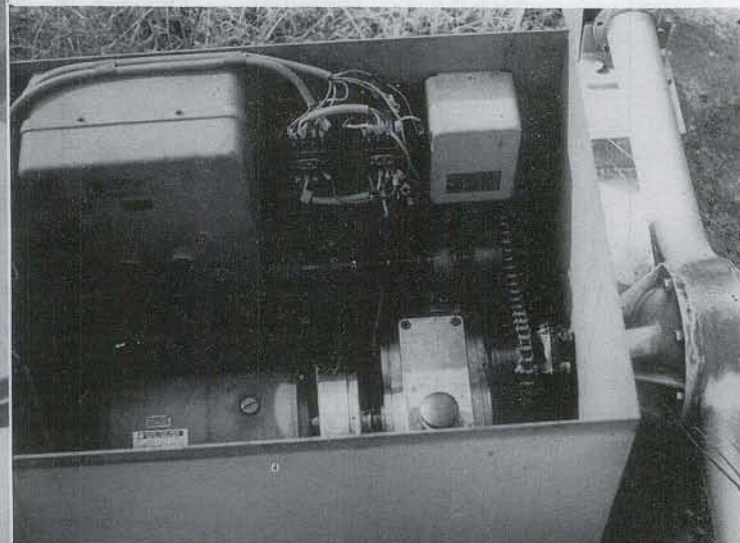
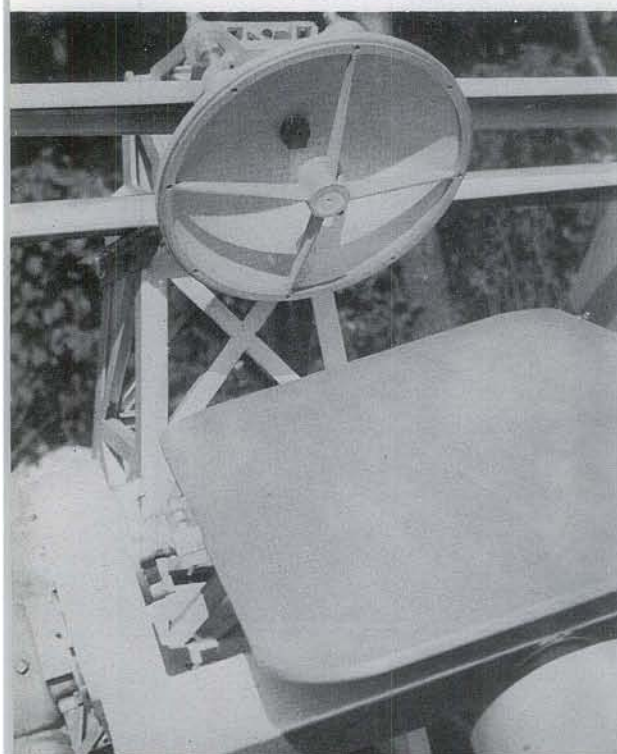
▲ アンテナを後からみた写真
(アンテナのフィーダーよりEバンドを通してマジック
Tへ、アンテナ駆動の共通軸は薄板を組み合せたジョ
イントにより結合させてある)

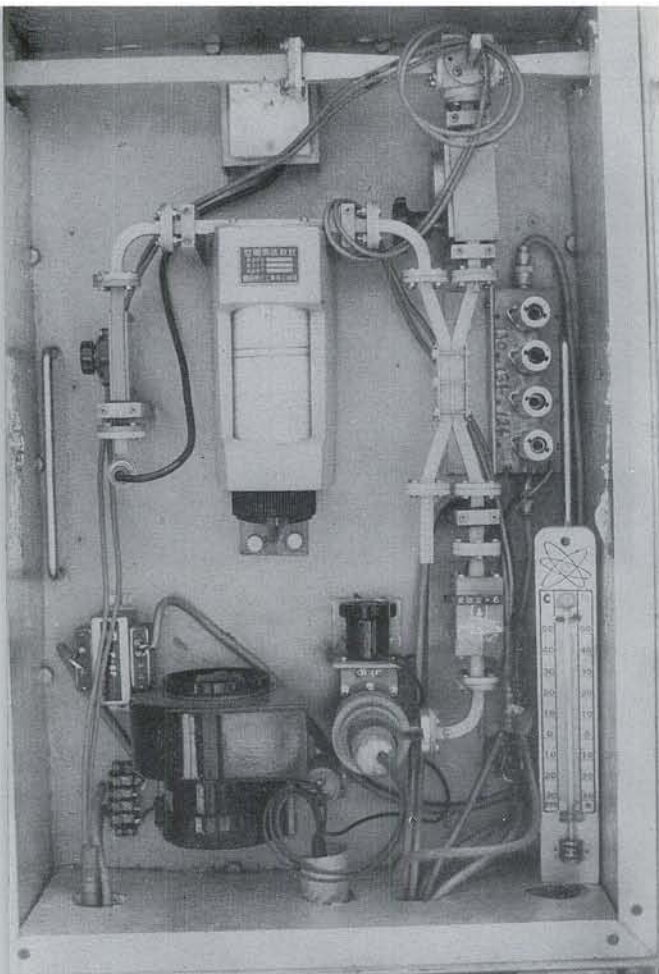
▼ 干渉計の1台のアンテナ



▲ ディファレンシャルギヤの一方がシンクロサモーターもう一方
がチェーンを通してアンテナを駆動

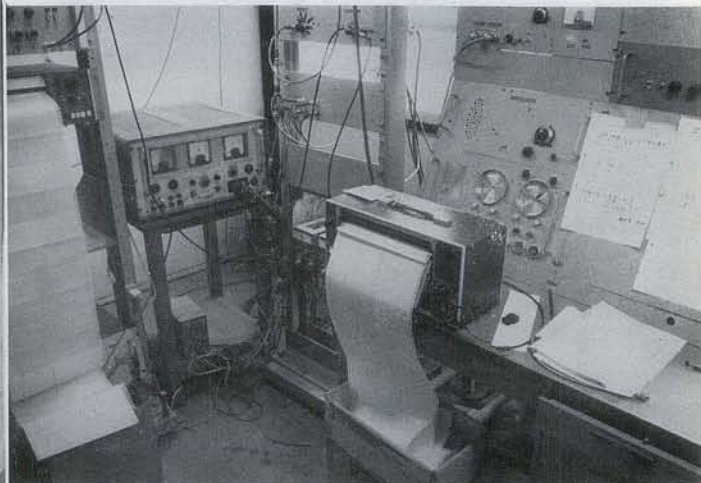
▼ アンテナ駆動部
(箱の外のディファレンシャルギヤ, 箱の内のモーターは早回し用)





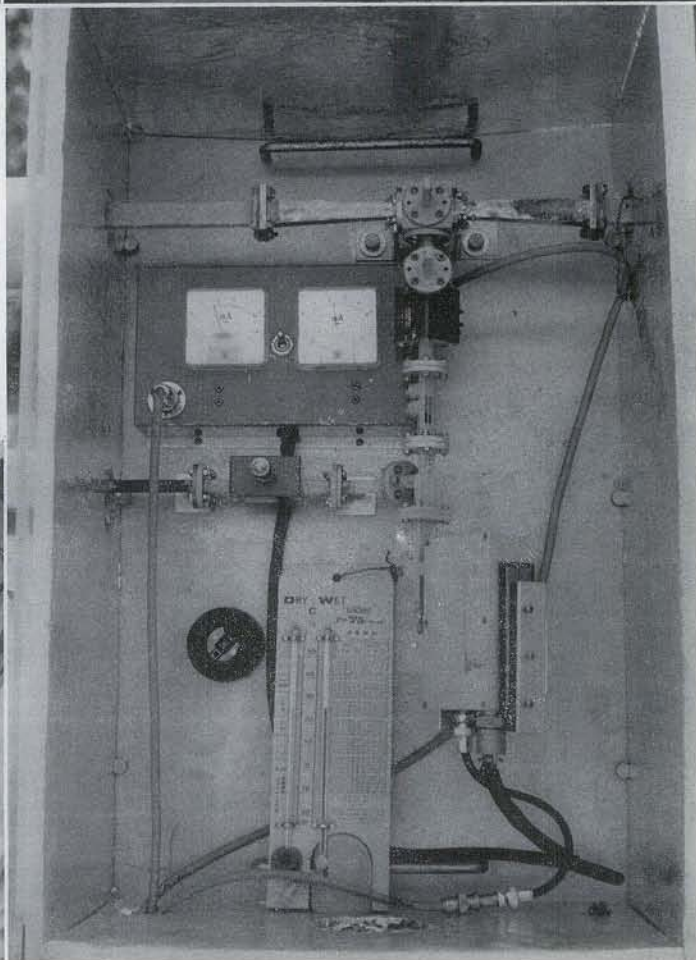
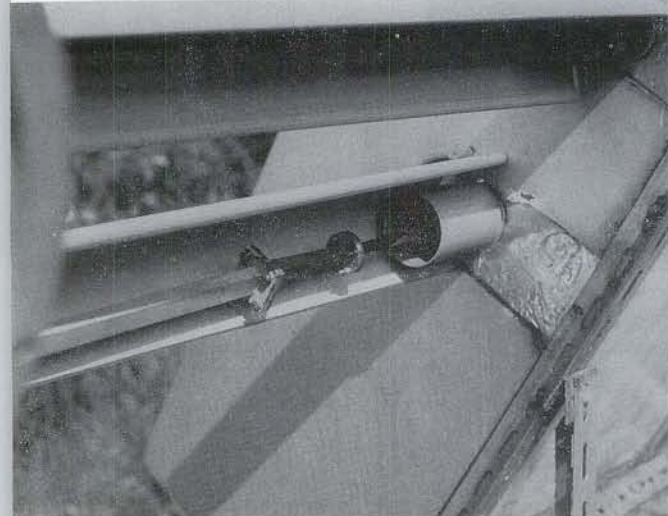
◀ 局部発振器
(クライストロンを使用のため恒温室となっている。ここから2つのミクサーにローカルパワーが供給される)

▼ コントロール兼記録室



ミクサープリアンプ
(ここで4素子がまとめられ、一たん IF に変換される) ▶

▼ 標準の導波管 (WRJ-320), オーバーサイズ導波管 (WRJ-140) (通過損失を少なくするために用いる) それらを連絡するテーパ導波管



神田 茂 先生 を 憶 ぶ



日本天文研究会例会記念写真（昭和21年夏）
国立科学博物館屋上ドームの前にて



- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1 星野 実 | 2 太田 彬 | 3 神田 茂 |
| 4 根本 順吉 | 5 村山 定男 | 6 富田 弘一郎 |
| 7 小山 ひさ子 | 8 森本 雅樹 | 9 大石 英夫 |



第2回神奈川県アマチュア天文家大会で講演する神田先生
1962（昭和37年）9月2日



▲ 昭和49年3月24日 彗星研究者会議にて

弔詞を読む齋藤理事長 ▶



◀ 葬儀（昭和49年8月10日）
於青山繁成寺

